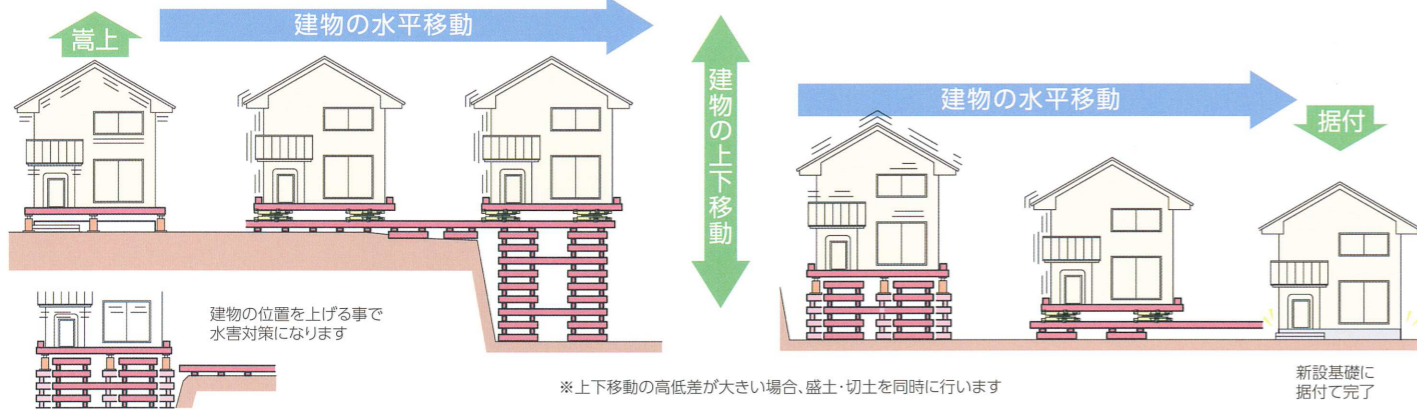


曳家工事でできること

曳家工事の種類・施工内容は多岐に分かれ、柱上げから建物移動までさまざまなニーズへの対応が可能です。土地の有効活用・高上げ水害対策・文化財保護・基礎の改修・家の傾き等、曳家工事はあらゆる場所で行なわれています。

建物の移動

開発道路の後退・水害対策・土地の有効利用など建物を好きな場所に移動させる事が可能です。



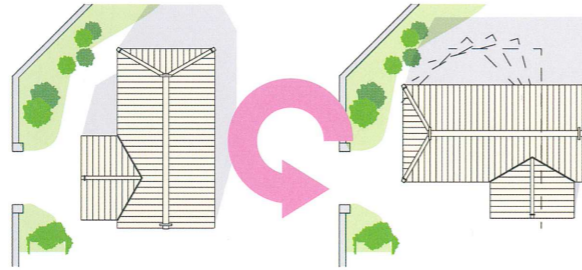
床下浸水・水害対策

建物の移動場所が無い場合、その場で建物を持ち上げ、新設基礎・盛土を施工するための空間を作ります。



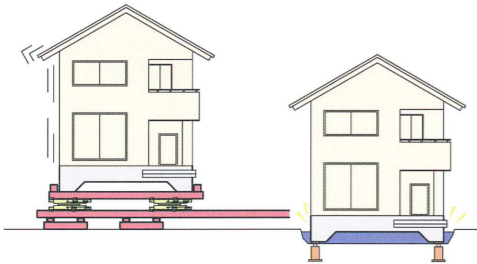
回転+移動

土地の有効活用・日当たりを変えたい等、建物を回転させ配置を変える事が出来ます。



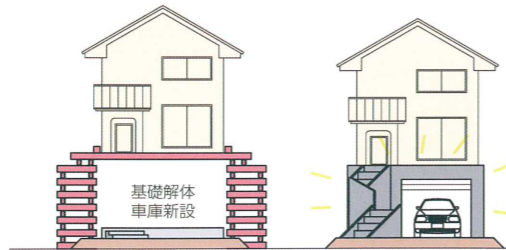
基礎ごとの移動

構造上問題ない場合は基礎ごと建物を移動する事が出来ます。費用対効果で費用を抑えられる事もあります。

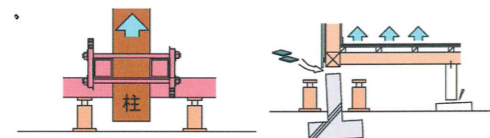


土地の有効活用

車庫が欲しい・土地の有効利用のため建物を上げた状態で車庫、階数を増やす事が出来ます。



重量物の持上げ・油圧機器の多様性



住宅・コンクリート構造物などあらゆるものを曳家機材を使用して持ち上げます。30t/台の力で重量のある構造物にも対応できます。



鋼管杭圧入し支持層まで打ち継ぐ事で建物を持ち上げ支持する事も出来ます。

曳家工法の選定

曳家用途により最もお得な工法を選び見積りいたします。

建物の状態で選択

➡ はい(YES) ⬇ いいえ(NO)

- 修繕費用を抑えたい
- 建物の傷みを最小限にしたい

- 基礎の強度や耐震を考慮する
- 穴だらけの基礎は将来不安

- 文化財を移動する
- 基礎ごとの移動する

- 改修を伴う為、修繕費用を多く見ているが曳家費用を抑えたい。
- 納戸や物置など精度を必要としない移動をする

- 壁に穴を開けても良い
- 躯体の状態や耐震はどうでも良い
- とにかく移動金額を安く抑えたい

金額の比較
在来木造2F
(30坪と想定)

構造で選択

スクエアフレーム工法

- 建物に負荷をかけない
- 基礎開口が必要ない
- 修繕費を抑えるため総工事費はお得
- 独自開発機材で移動回転が簡単に出来る
- 基礎ごとの移動が簡易

修繕費 50万
移動費 500万
標準とすると

重量物
RC、SRC
鉄骨造
木造
文化財

SRM工法・レール工法

- 基礎強度は弱い
曳家工事費は抑えられる
- 建物修繕費は高くなる
- 工期がスクエアフレーム工法より長期
- 狭い場所は割高、または施工不可能

修繕費 200万
移動費 400万
少し安い

RC、SRC
(施工条件有り)
鉄骨造
木造
文化財
(施工条件有り)

丸太角材工法

- 建物に穴を開ける
- 内装外装はほぼ遣替え
- 工法が古い
- 重量物は施工不可能
- 安全性皆無
- 住みながらは不可能
- やたらハンドジャッキを多用する

修繕費 600万
移動費 200万

鉄骨造
(施工条件有り)
木造
(施工条件有り)

※条件が判らない状態での見積り(概算)は各工法の中から何にでも対応できる「スクエアフレーム工法」を工法選定して積算します。建物を全面改修するなど条件が違えば工法選定も変わってきますので、どのような工事目的で全体の改修範囲などを教えて頂けると最も対費用効果の高い工法で積算します。曳家時の諸条件が決定した際は再度見積りを行いますのでお問合せください。
※他社のお見積りをお持ちの方も曳家条件を提示していただければ、同条件の見積りを作成します。金額を比べていただいてもOKです。